

当事業はサッカーくじ toto の収益 金による助成を受けています。

2012 NAVI

競技者育成プログラム 2012年度指針

We are the <u>next-generation</u> <u>athletes</u> aiming at <u>victory</u> in <u>international</u> competitions.

NAVI(国際大会での勝利を目指す、次の世代の競技者!)



社団法人 日本フェンシング協会 育成・普及・事業委員会 強化委員会

NAVI 競技者の発掘・育成事業の状況と今年度の方針

① 一貫指導

継続的で安定した競技力の向上、競技の普及を図るためには、指導者のさらなるレベルアップを行い、優れた素質を有する競技者を広く発掘し育成していく一貫指導システムや優秀な審判員の養成が不可欠です。

② 競技者育成事業 (NAVI)

次代を担う優れた素質を持つ競技者を発掘育成することを目的に、スポーツ振興くじ(toto)の助成を受け、2003年度から競技者育成事業を実施してまいりました。開始後、数年は助成金が徐々に減少し、一時は継続も危ぶまれましたが、各ブロックの意欲の高さや協力もあり継続開催することができました。2008年度からは、助成金も増加し、再構築に向けて事業の充実を図っています。

③ 開催狀況

2003年の開始以来、フルーレ種目を中心に開催してまいりましたが、2008年度からは、カデ年齢層を対象に、エペ種目で実施し、2010年度からはサーブル種目を開始しています。

エペ・サーブル種目については、低年齢競技者層の専門競技者が少ない状況にありますが、要因の一つとして指導者不足や競技会の不足があげられています。各種目の技術や規則が、高度化し専門化していく中、世界に伍して戦うためには、その種目に適性をもつ競技者の発掘・育成が不可欠であり、特にエペ・サーブルにおいては、低年齢層における育成システムを改善する必要があります。

これらの課題の改善を目指し、新たな競技会の導入や整備を図り、2011年度に全国少年大会個人戦でエペ・サーブル種目の導入を行いました。また、指導者研修、育成研修なども実施しています。

④ タレント発掘事業

いくつかの県でスタートしている「タレント発掘事業」は、徐々に全国的な広がりをもつことが予測されます。特に競技者の発掘事業は、各支部の重要な課題であり、重要な事業となりますので、連携を図りながら、早期に対策を講じていただきますよう期待します。

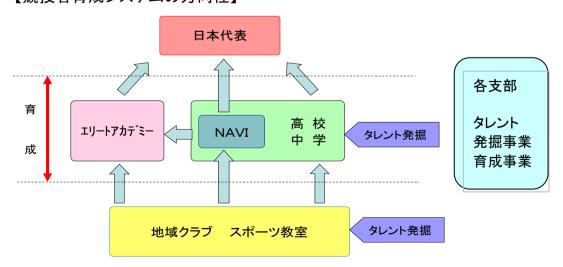
⑤ 海外研修

競技の特性上、欧米中心になる傾向はあります。育成途上の競技者にとって、根底にある 競技特性や文化を学ぶことは、将来において、競技者として、国際人として有効な事業で す。新たな事業として、各国のクラブや育成機関で学ぶ事業を開始します。

⑥ エリートアカデミー

フェンシング競技は2009年度からエリートアカデミー事業に参加し、2012年に第1期生2名が卒業します。2012年度入校の3人を加え、2012年度は12名の競技者がエリートカデミーに学びます。競技者育成事業、発掘事業、各県のタレント発掘事業などと相互に連携することによって、育成システムをさらに充実させていくことになります。

【競技者育成システムの方向性】



競技者育成プログラムの経過

【これまでの主な活動】

- 2002年(平成14年度)
 - ・全国担当者会議、開催 ・・・・・ 競技者育成プログラムの方向性の検討
 - ・ブロック会議開催 ・・・・・ ブロック内での意見調整等
 - ・海外の育成システム調査 ・・・・・ フランス、ドイツ
 - 指導指針作成
- 2003年(平成15年度)
 - ・全国担当者会議・・・・・ ブロック研修会実施に向けた検討
 - ・ブロック研修会 ・・・・・ 9ブロックで開催(約300名参加)
 - ・有望競技者の海外派遣 ・・・・・ ドイツ
- 2004年(平成16年度)
 - ・ブロック研修会 ・・・・・ 9ブロック開催(約400名参加)
 - ・中央研修会・・・・・ 茨城県で開催(19名参加)
- 2005年(平成17年度)
 - ・ブロック研修会 ・・・・・ 7ブロック開催(約250名参加)
 - ・中央研修会 ····・ IISSで2回開催(延43名参加)
 - ・DVD作成 ・・・・・ 「フェンシングウォーミングアップ&エクササイズ」
- 2006年(平成18年度)
 - ・ブロック研修会 ・・・・・ 7ブロック開催(約250名参加)
 - ・中央研修会 ····· JISSで開催(23名参加)
 - ・DVD作成 ・・・・・ 「世界のトップクラスのフェンシング(高円宮杯より)」
 - ・福岡県タレント発掘事業との連携
- 2007年(平成19年度)
 - ・ブロック研修会 ・・・・・ 8ブロック開催(約200名参加)
 - ・中央研修会 ····· JISSで開催(20名参加)
 - ・福岡県タレント発掘事業との連携
- 2008年(平成20年度)
 - ・ブロック研修会 ・・・・・ 8ブロック開催(約150名参加)
 - ・中央研修会 · · · · JISSで2回開催(延43名参加)
 - ・エペ研修会 ・・・・・ 長野県箕輪町で開催
 - ・DVD作成 ·····「フェンサー、指導者のための外傷・障害対策」
 - ・福岡県タレント発掘事業との連携
- 2009年(平成21年度) 略称をNAVIとする
 - ・NAVIブロック研修会 ···· 8ブロック開催(約300名参加)
 - ・NAVI中央研修会 ····・ JISSで2回開催(延50名参加)
 - ・エペ研修会 ・・・・・ 長野県箕輪町で開催
 - •NAVIミニム・キャンプ ···· JISSで3回開催(約100名参加)
- 2010年(平成22年度)見込み
 - ・2010NAVIブロックキャンプ ···· 8ブロック開催(約300名参加)
 - ・2010NAVI中央キャンプ・・・・・ JISSで2回開催(延50名参加)
 - •2010NAVIエペキャンプ ····・ 長野県箕輪町で開催
 - ・2010NAVIサーブルキャンプ ····· JISS、愛知県で実施
 - ・201NAVIミニムキャンプ ・・・・・ JISSで3回開催(約100名参加)
 - ・福岡県・秋田県のタレント発掘事業との連携
- 2011年(平成23年度)予定
 - •2011NAVIブロック・カデキャンプ ····・ 8ブロック開催(約300名参加)
 - •2010NAVI カデ育成キャンプ・・・・フルーレ・エペ・サーブル各種目×4回
 - ・2011NAVIミニムキャンプ ···· 3回開催
 - •2011NAVI ミニム育成キャンプ ···1回開催

2012 発掘・育成システムの概念図

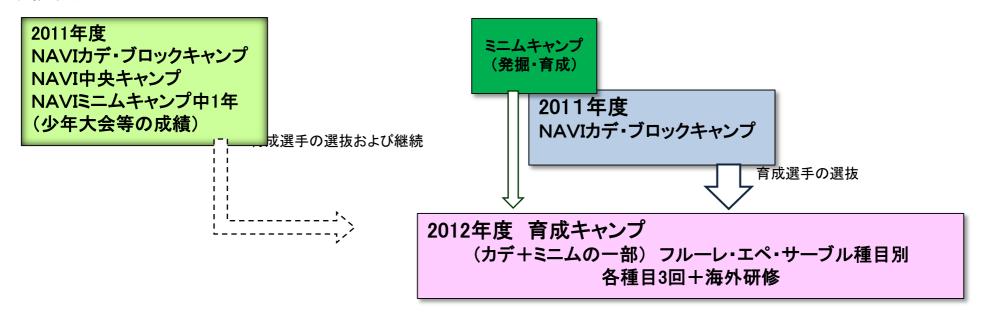
	年代			発掘・育成・強化補助助成						
		: 24 23		日本代表						
	4年	22	シニア	準日本代表						
	3年	21		ユニバ代表						
大学生	2年	20								
	1年	19		ジュニア強化選手						
	3年	18	ジュニア	〔ジュニア競技者〕						
高校生	2年	17								
	1年	16	カデ	エリート 2012NAVIキャンプ 発掘・育成 競技者育成事業						
	3年	15	71.7	(育成・強化) (育成・強化) (育成・強化)						
中学生	2年	14		(発掘)						
	1年	13		NAASH(toto) 発掘·育成						
***************************************	6年	12	ミニム	2012NAVI・ミニムキャンプ事業 (発掘・育成) の						
小学生	5年	11								
	4年	10								
	3年	9		————————————————————————————————————						
	2年	8		支部 (普及・育成) スポ [°] ーツ教室等						
	1年	7								

2012年度事業日程(概略)

	2011年度	2012年度												2013年度
	~3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~
NAVIカデ・ブロックC	,													
							カデ・ブ	ロックキャ	<u>'ンプ</u>					
いんなよぎ去さっ				—										
NAVIカデ育成C				フルーレ				里力						
				エページェ				国外				国外		
	1			サーブル	•		国外							
NAVIミニム・キャンフ	of the second second													
						ミニム・コ	Fャンプ							
NAVIミニム・育成C														
						レナはる	ミニム育			声が去い				

※実施日程については、会場等の都合により、若干変更が有ります。

発掘・育成のシステム



発育・発達段階の応じた一貫指導の指標

	訓練段階		年齢	目標	指導のねらい	技術・戦術		体力	目標とする大会		
		ジ							国内大会	国際大会・研修	
強	専門の深化	6	20歳~21歳		スピードとパワー 国際経験 練習→試合→休養のサイクル		・技術のパワーとスピードを追求する ・自分の個性を活かし、世 界レベルの技術や戦術を 追求する	パワーづ くり		(オリンピック)出場 世界選手権出場 アジア選手権メダル獲得 ユニバーシアート・メダル獲得	
11-		5	18歳~19歳	(目標への挑戦)	専門的体力の強化 独自のスタイルの確立 自己理解とコントロール	応用能力の 開発	・自分の個性(特徴)を理解し、それに合った技術や戦術を工夫する			世界ジュニア選手権 メダル獲得 ワールドカップ出場 ジュニアWCメダル獲得	
化		4	16歳~17歳	フェンシングが強 くなりたい (種目特化)	戦術の理解 総合的体力の強化 心の強さ 体の強さ		・状況に応じた技術や戦術 を使うことができる ・個性と適性を理解し、専 門種目に特化する		インターハイ	世界ジュニア選手権出場 世界カデ選手権メダル獲得 アジアジュニア・カデ優勝 ジュニアWC出場	
育		3	3 14歳~15歳	試合で勝てるよ うになりたい (自覚)	技術の理解 試合のやりとり、変化 基礎の見直し、修正		・試合規則を理解する。 ・戦術の基礎を習得する。	スタミナ・づくり		世界カデ選手権出場 アジアカデ選手権 国外研修	
成	専門化初期	2		フェンシングが上 手くなりたい (向上心)	手と足のコーディネーション バランス感覚 フェンシングの楽しさ	基本の習得	・フェンシンクの基本的な 技術や移動動作を習得する。 ・間合いの感覚を理解し、 戦術に結び付ける			国外研修 海外大会の経験	
発掘	基礎 トレーニング 期	1	11~12歳	フェンシングに親 しむ (親しむ・感覚)	基礎的な感覚 剣の感覚 フェンシングの動き リズム感 スポーツの楽しさ	模 倣	・基礎を身につける・個性を見つける・自由な発想を誘導する・闘争心を養う	動きづく り	全国少年大会	外国選手との交流 〈国内外)	
発掘	導入期	0	~10歳	フェンシングを始 める (自由に動く)	フェンシングとの出会い フェンシングの楽しさ スポーツの楽しさ 友達づくり	遊び	 遊びや自由な動きの中から、体の動かし方や感覚を習得する 間合いの感覚を磨く 剣の操作(指の使い方) 無理のない構え 様々な足の動きなど 	感覚 感性	各支部の大会		